

DRUG

INFORMATION

2004 No. 17

岐阜大学医学部附属病院薬剤部
医薬品情報管理室（内線7083）

平成16年9月3日発行

目 次

- 1 . 医薬品の採用・採用中止について 1
—平成 16 年 9 月 2 日の薬事委員会結果—
- 2 . 新規院内処方医薬品について 3

※ Drug Information は医学部・附属病院 HP の下記アドレスにて提供しています。
<http://www1.med.gifu-u.ac.jp/web/drug-info/index.htm>

電子メールによる連絡を希望される方は下記までご連絡下さい。
di8931@cc.gifu-u.ac.jp

医薬品の採用・採用中止について

院内新規試用医薬品

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
イレッサ錠(ゲフィチニブ)	250mg/錠	抗悪性腫瘍剤	アストラゼネカ
オルメテック錠(オルメサルタンメドキシミル)	20mg/錠	アンジオテンシン 受容体拮抗剤	三共
カレトラ・ソフトカプセル(ロピナビル, リナビル)	合剤	抗ウイルス化学療法剤	アボット・ジャパン
グルファスト錠(ミチグリニドカルシウム水和物)	10mg/錠	速効型インスリン分泌促進薬	武田
ニコチン酸アミド散ゾンネ(ニコチン酸アミド)	100mg/g	ニコチン酸アミド製剤	鳥居
ベイスン OD 錠(ボグリボース)	0.3mg/錠	糖尿病食後過血糖改善剤	武田
ベリプラスト P コンビセット	3mL セット	生理的組織接着剤	アベンティスファーマ
エリル注 S(塩酸ファスジル水和物)	30mg/2mL/A	蛋白リン酸化酵素阻害剤	旭化成ファーマ
エルシトニン注 20S ディスポ(エルカトニン)	20 Ⅰルカトニン単位/筒	骨粗鬆症治療剤	旭化成ファーマ
ネオパレン 1 号	1,000mL/袋	高カロリー輸液用製剤	大塚
ネオパレン 2 号	1,000mL/袋	高カロリー輸液用製剤	大塚
プレセデックス静注液(塩酸デクスメドミジン)	200mg/2mL/V	α ₂ 作動性鎮静剤	アボット・ジャパン
メディジェクト K(塩化カリウム)	1.491g(20mEq)/20mL/筒	電解質補正用製剤	テルモ

院内採用医薬品

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
アーチスト錠(カルベジロール)	2.5mg/錠	持続性高血圧・狭心症治療剤	第一
ラコール	200mL/袋	経腸栄養剤	大塚
イノバン注シリンジ(塩酸ドパミン)	150mg/50mL/本	急性循環不全改善剤	協和醗酵
エイゾプト点眼液(プリンゾラミド)	{1%} 5mL/本	眼圧下降剤	アルコン
フルタイド 50 ディスカス(プロピオン酸フルチカゾン)	60 プリスター/個	吸入ステロイド喘息治療剤	グラクソ・スミスクライン
アトクイックシリンジ(硫酸アトロピン)	0.5mg/1mL/筒	鎮痙剤	テルモ
ノボラピッド 30 ミックス注フレックスペン(インスリンアスパルト)	300 単位/3mL/キット	インスリン製剤	ノボ・ナルディスクファーマ
ハイソルブー-D W タイプ	合剤	人工腎臓透析用粉末製剤	味の素ファルマ
ボトックス注(A 型ボツリヌス毒素)	100 単位/V	A 型ボツリヌス毒素製剤	アラガン
リュープリン注射用キット(酢酸リュープロレリン)	1.88mg/キット	LH-RH 誘導体制剤	武田

院内採用中止医薬品

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
ウルグートカプセル(塩酸ベネキサートベータデクス)	200mg/Cp	胃炎・胃潰瘍治療剤	塩野義
カプトリル-Rカプセル(カプトプリル)	18.75mg/Cp	ACE阻害剤	三共
セパミット-Rカプセル(ニフェジピン)	10mg/Cp	カルシウム拮抗剤	オルガノン
ツムラ十味敗毒湯エキス顆粒	2.5g/包	漢方製剤	ツムラ
5-FU錠協和(フルオロウラシル)	50mg/錠	代謝拮抗剤	協和醗酵
ベイスン錠(ボグリボース)	0.3mg/錠	糖尿病食後過血糖改善剤	武田
パンスポリンT錠(塩酸セフォチアムヘキセチル)	200mg/錠	セフェム系抗生物質製剤	武田
アミノトリパ1号	850mL/袋	高カロリー輸液用製剤	大塚
アミノトリパ2号	900mL/袋	高カロリー輸液用製剤	大塚
エルシトニン注20S(エルカトニン)	20エルカトニン単位/A	骨粗鬆症治療剤	旭化成ファーマ
塩酸モルヒネ注射液(塩酸モルヒネ)	50mg/5mL/A	アヘンアルカロイド系麻薬	武田
サガミシン注(硫酸ミクロマイシン)	120mg/1.5mL/A	アミノグリコシド系抗生物質	協和醗酵
ハルトマン液pH:8-[HD]	500mL/袋	乳酸リンゲル液	ニプロファーマ

※在庫がなくなり次第、処方中止とします。

院外採用医薬品(追加分)

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
アリセプトD錠(塩酸ドネペジル)	3mg, 5mg/錠	アルツハイマー型痴呆治療剤	エーザイ
ゼローダ錠(カペシタピン)	300mg/錠	抗悪性腫瘍剤	中外
プラバスタン錠(プラバスタチンナトリウム)	5mg/錠	高脂血症治療剤	ケミファ
ベイスンOD錠(ボグリボース)	0.2mg, 0.3mg/錠	糖尿病食後過血糖改善剤	武田
レビトラ錠(塩酸バルデナフィル水和物)	5mg, 10mg/錠	勃起不全治療剤	バイエル
ポルタレンテープ(ジクロフェナクナトリウム)	15mg/7×10cm/枚	経皮鎮痛消炎剤	ノバルティスファーマ
メンタックススプレー(塩酸ブテナフィン)	[1%] 10mL/本	抗白癬菌剤	科研

胃苓湯エキス顆粒	参蘇飲エキス顆粒		
帰脾湯エキス顆粒	神秘湯エキス顆粒		
芍帰膠艾湯エキス顆粒*	清心蓮子飲エキス顆粒		
桂枝人参湯エキス顆粒	大承気湯エキス顆粒		
桂枝茯苓丸加薏苡仁エキス顆粒	竹筴温胆湯エキス顆粒		
五虎湯エキス顆粒	治打撲一方エキス顆粒	2.5g/包	
五淋散エキス顆粒	当帰建中湯エキス顆粒	(*:3g/包)	漢方製剤 ツムラ
柴陥湯エキス顆粒	当帰湯エキス顆粒		
柴胡清肝湯エキス顆粒	茯苓飲合半夏厚朴湯エキス顆粒		
酸棗仁湯エキス顆粒	麻杏薏甘湯エキス顆粒		
三物黄芩湯エキス顆粒	苓甘姜味辛夏仁湯エキス顆粒		
小柴胡湯加桔梗石膏エキス顆粒	苓姜朮甘湯エキス顆粒		

新規院内処方医薬品について

*ゲフィチニブ Gefitinib

【商】イレッサ Iressa アストラゼネカ

内用：錠剤[㊦] 1錠中 250mg

【警】本剤による治療を開始するにあたり、患者に本剤の有効性・安全性、息切れ等の副作用の初期症状、非小細胞肺癌の治療法、致命的となる症例があること等について十分に説明し、同意を得た上で投与すること。本剤の投与により急性肺障害、間質性肺炎があらわれることがあるので、胸部 X 線検査等を行うなど観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。また、急性肺障害や間質性肺炎が本剤の投与初期に発生し、致命的な転帰をたどる例が多いため、少なくとも投与開始後 4 週間は入院又はそれに準ずる管理の下で、間質性肺炎等の重篤な副作用発現に関する観察を十分に行うこと。特発性肺線維症、間質性肺炎、塵肺症、放射線肺炎、薬剤性肺炎の合併は、本剤投与中に発現した急性肺障害、間質性肺炎発症後の転帰において、死亡につながる重要な危険因子である。このため、本剤による治療を開始するにあたり、特発性肺線維症、間質性肺炎、塵肺症、放射線肺炎、薬剤性肺炎の合併の有無を確認し、これらの合併症を有する患者に使用する場合には特に注意すること。本剤は、肺癌化学療法に十分な経験をもつ医師が使用するとともに、投与に際しては緊急時に十分に措置できる医療機関で行うこと。

【禁】本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 妊婦又は妊娠している可能性のある婦人

【効】手術不能又は再発非小細胞肺癌

【用】1日1回 250mg を投与する。

【副】急性肺障害、間質性肺炎、下痢、脱水、Lyell 症候群、多形紅斑、肝機能障害、血尿、出血性膀胱炎、急性膵炎 無力症、発疹、痒痒症、皮膚乾燥、ざ瘡、爪の障害、脱毛、結膜炎、眼瞼炎、角膜びらん、下痢、嘔気、嘔吐、食欲不振、口内炎、AST・ALT 上昇、血管浮腫、蕁麻疹、INR 上昇、出血

【妊】有益のみ

【授】回避、やむを得ない場合は授乳中止

【未・新・乳・幼・小】未確立

*オルメサルタンメドキシミル

Olmesartan Medoxomil

【商】オルメテック Olmetec 三共

内用：錠剤 1錠中 20mg

【禁】本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人

【効】高血圧症

【用】1日1回 10~20mg を投与する。1日5~10mg から投与を開始し、1日最大投与量は 40mg までとする。

【副】血管浮腫、腎不全、高カリウム血症、失神、意識消失、肝機能障害、黄疸 発疹、赤血球数・ヘモグロビン・ヘマトクリット減少、白血球数増加、血小板数減少、めまい、立ちくらみ、ふらつき感、頭痛、頭重感、眠気、軟便、ALT・AST・γ-GTP・LDH 上昇、ALP 上昇、BUN 上昇、血清クレアチニン上昇、尿蛋白、尿沈渣、CK・CRP・トリグリセリド・血清 K・尿酸上昇、全身倦怠感、咳嗽

【妊】不可

【授】回避、やむを得ない場合は授乳中止

【未・新・乳・幼・小】未確立

【商】カレトラ Kaletra アボット・ジャパン

内用：カプセル剤[㊦] 1個中ロピナビル 133.3mg、リトナビル 33.3mg

【禁】本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者、次の薬剤を投与中の患者 [酢酸フレカイニド、塩酸プロパフェノン、ピモジド、アステミゾール、テルフェナジン、シサプリド、酒石酸エルゴタミン、メシル酸ジヒドロエルゴタミン、ミダゾラム、トリアゾラム]

【効】HIV 感染症

【用】1回3個を1日2回食後に投与する。

【副】高血糖、糖尿病、膵炎、出血傾向、肝機能障害、肝炎 無力症、頭痛、疼痛、背部痛、胸痛、胸骨下痛、悪寒、嚢胞、浮腫、末梢性浮腫、顔面浮腫、発熱、インフルエンザ様症候群、倦怠感、ウイルス感染、体脂肪の再分布/蓄積、深在性血栓性静脈炎、高血圧、心悸亢進、血栓性静脈炎、血管炎、下痢、嘔気、腹痛、嘔吐、異常便、アミラーゼ上昇、消化管障害、消化不

良，鼓腸，食欲不振，胆嚢炎，便秘，口内乾燥，嚥下障害，腸炎，おくび，食道炎，大便失禁，胃炎，胃腸炎，出血性大腸炎，食欲亢進，唾液腺炎，口内炎，潰瘍性口内炎，肝機能検査異常，ビリルビン値上昇，血小板減少，貧血，白血球減少症，リンパ節症，好中球減少，総コレステロール・トリグリセライド上昇，Na 低下，リポジストロフィー，ビタミン欠乏，脱水，耐糖能低下，乳酸性アシドーシス，肥満，体重減少，血中尿酸上昇，無機リン低下，クッシング症候群，甲状腺機能低下，女性型乳房，筋肉痛，関節痛，関節症，不眠，異夢，激越，健忘，不安，運動失調，錯乱，抑うつ，めまい，ジスキネジア，感情不安定，脳症，緊張亢進，リビドー減退，神経過敏，ニューロパシー，感覚異常，末梢神経炎，傾眠，思考異常，振戦，発疹，瘡瘡，脱毛，皮膚乾燥，剥脱性皮膚炎，癩腫症，斑状丘疹性皮疹，爪疾患，癢痒，良性皮膚腫瘍，皮膚変色，発汗，気管支炎，呼吸困難，肺水腫，副鼻腔炎，視力異常，眼疾患，中耳炎，味覚倒錯，耳鳴，射精異常，男性機能低下，腎結石，尿異常

【妊】有益のみ 【授】授乳中止

【乳】6ヵ月以下：未確立

【貯】遮光，2～8℃

*ミチグリニドカルシウム水和物

Mitiglinide Calcium Hydrate

【商】グルファスト Glufast 武田

内用：錠剤 1錠中10mg

【禁】重症ケトーシス・糖尿病性昏睡又は前昏睡・1型糖尿病の患者，重症感染症・手術前後・重篤な外傷のある患者，本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者，妊婦又は妊娠している可能性のある婦人

【効】2型糖尿病における食後血糖推移の改善（ただし，食事療法・運動療法を行っている患者で十分な効果が得られない場合に限る）

【用】1回10mgを1日3回毎食直前に投与する。

【副】心筋梗塞，低血糖 肝機能障害，黄疸 低血糖症状，口渇，腹部膨満，空腹感，下痢，便秘，胃不快感，嘔気，放屁増加，胸やけ，軟便，胃炎，口内炎，腹痛，胃痛，嘔吐，胃潰瘍，胃腸炎，食欲不振，湿疹，癢痒症，筋肉痛，関節痛，眩暈，しびれ感，緊張亢進，眠気，食欲

亢進，耳痛， γ -GTP・ALT・LDH・AST・総ビリルビン上昇，尿蛋白，動悸，咳，かぜ症候群，腎嚢胞，頻尿，ピルビン酸上昇，頭痛，倦怠感，体重増加，右季肋部痛，冷汗，ほてり，乳酸・遊離脂肪酸・総コレステロール・LDL コレステロール・トリグリセライド・尿酸・K 上昇

【妊】不可 【授】授乳回避

【小】未確立

*ニコチン酸アミド Nicotinamide

【商】ニコチン酸アミド 鳥居

内用：散剤 1g中100mg

【効】○ニコチン酸欠乏症の予防及び治療（ペラグラ等），ニコチン酸の需要が増大し食事からの摂取が不十分な際の補給（消耗性疾患，妊産婦，授乳婦，激しい肉体労働時等）○下記の疾患のうちニコチン酸の欠乏又は代謝障害が関与すると推定される場合：口角炎，口内炎，舌炎，接触皮膚炎，急・慢性湿疹，光線過敏性皮膚炎，メニエル症候群，末梢循環障害（レイノー病，四肢冷感，凍瘡，凍傷），耳鳴，難聴

【用】1日25～200mgを投与する。

【妊・授】未確立

【小】未確立

【貯】遮光

*ボグリボース Voglibose

【商】ベイスン OD Basen OD 武田

内用：錠剤 1錠中0.3mg

【禁】重症ケトーシス・糖尿病性昏睡又は前昏睡の患者，重症感染症・手術前後・重篤な外傷のある患者，本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【効】糖尿病の食後過血糖の改善（ただし，食事療法・運動療法を行っている患者で十分な効果が得られない場合，又は食事療法・運動療法に加えて経口血糖降下剤もしくはインスリン製剤を使用している患者で十分な効果が得られない場合に限る）

【用】1回0.2mgを1日3回毎食直前に投与する。効果不十分な場合には，経過を十分に観察しながら1回量を0.3mgまで増量することができる。

【副】低血糖，腸閉塞様症状，劇症肝炎，肝機能障害，黄疸，意識障害を伴う高アンモニア血症 下痢，軟便，腹鳴，腹痛，便秘，食欲不振，

悪心，嘔吐，胸やけ，口内炎，口渇，味覚異常，腸管囊胞様気腫症，発疹，瘙癢，光線過敏症，AST・ALT・LDH・ γ -GTP・Al-P 上昇，頭痛，めまい・ふらつき，眠気，貧血，血小板減少，しびれ，顔面等浮腫，眼のかすみ，ほてり，倦怠感，脱力感，高カリウム血症，血清アミラーゼ上昇，HDL コレステロール低下，発汗，脱毛

【妊】未確立，有益のみ

【授】回避，やむを得ない場合は授乳回避

【小】未確立

【商】ベリプラスト P コンビセット

Beriplast P Combi-Set アベンティスファーマ
外用：1mL 中人フィブリノゲン 80mg，人血液凝固第XIII因子 60 倍，アプロチニン液 1,000KIE，トロンビン 300 単位，塩化カルシウム 5.88mg (3mL)

【禁】本剤の成分又は牛肺を原料とする製剤（アプロチニン等）に対し過敏症の既往歴のある患者，凝固促進剤（蛇毒製剤）・抗線溶剤・アプロチニン製剤による治療を受けている患者

【効】組織の接着・閉鎖（ただし，縫合あるいは接合した組織から血液，体液又は体内ガスの漏出をきたし，他に適切な処置法のない場合に限る。）

【用】フィブリノゲン末をアプロチニン液全量で溶解し，A液とする。トロンビン末をアプロチニン液量と同量の塩化カルシウム液で溶解し，B液とする。接着・閉鎖部位にA液，B液を重層又は混合して適用する。10cm²あたりA液B液各々1mLを適用する。

【副】ショック 頭痛，嘔吐，黄疸，肝機能異常，過敏症，発熱，胸痛

【妊】未確立，有益のみ

【未・新】未確立

【貯】10℃以下

*塩酸ファスジル水和物

Fasudil Hydrochloride Hydrate

【商】エリル S Eril S 旭化成ファーマ

注射：液剤[㊟] 1管 (2mL) 中 30mg

【警】本剤の臨床試験において，頭蓋内出血（脳内出血，硬膜外血腫，硬膜下血腫，脳室内出血，頭皮下血腫，くも膜下出血）の発現が認められている。本剤の投与は緊急時に十分対応

できる医療施設において行うこと。また，本剤の投与に際しては，臨床症状及びコンピューター断層撮影による観察を十分に行い，出血が認められた場合には直ちに投与を中止し，適切な処置を行うこと。

【禁】出血している患者（頭蓋内出血），頭蓋内出血の可能性のある患者（出血した動脈瘤に対し十分な止血処置を術中に施すことができなかった患者），低血圧の患者

【効】くも膜下出血後の脳血管攣縮及びこれに伴う脳虚血症状の改善

【用】1回 30mg を 50～100mL の電解質液又は糖液で希釈し，1日 2～3回，約 30分間かけて点滴静注する。本剤の投与は，くも膜下出血術後早期に開始し，2週間投与することが望ましい。

【副】頭蓋内出血，消化管出血，肺出血，鼻出血，皮下出血，ショック，麻痺性イレウス 低血圧，顔面潮紅，貧血，白血球減少，血小板減少，AST・ALT・Al-P・LDH 上昇，黄疸，BUN・クレアチニン上昇，多尿，排尿困難，発疹，膨満感，嘔気，嘔吐，発熱，頭痛，意識レベル低下，呼吸抑制

【妊】有益のみ 【授】授乳回避

【小】未確立

*エルカトニン Elcatonin

【商】エルシトニン 20S ディスポ

Elcitonin 20S Dispo 旭化成ファーマ

注射：液剤[㊟]

1筒 (1mL) 中 20エルカトニン単位

【禁】本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【効】骨粗鬆症における疼痛

【用】1回 20エルカトニン単位を週 1回筋注する。

【副】ショック，アナフィラキシー様症状，低カルシウム血症性テタニー，喘息発作，肝機能障害，黄疸 発疹，蕁麻疹，顔面潮紅，熱感，胸部圧迫感，動悸，血圧上昇・低下，悪心，嘔吐，腹痛，食欲不振，下痢，口渇，胸やけ，口内炎，ふらつき，めまい，頭痛，耳鳴，視覚異常，AST・ALT 上昇，低リン血症，低ナトリウム血症，注射部位の疼痛，注射部位の発赤・腫脹，瘙癢感，全身倦怠感，赤血球減少，BUN 上昇，Al-P 上昇，指先のしびれ，発汗，頻尿，浮

腫，咽喉部違和感，発熱，悪寒，脱力感，ヘモグロビン減少，乳房肥大，乳房痛

【妊・授】未確立，有益のみ

【未・新・乳・幼・小】未確立

【商】ネオパレン Neoparen 大塚

注射：液剤

1号：1袋 1,000mL 上室液（300mL）中 L-ロイシン 2.8g，L-イソロイシン 1.6g，L-バリン 1.6g，酢酸 L-リジン 2.96g，L-トレオニン 1.14g，L-トリプトファン 0.4g，L-メチオニン 0.78g，アセチルシステイン 0.27g，L-フェニルアラニン 1.4g，L-チロジン 0.1g，L-アルギニン 2.1g，L-ヒスチジン 1g，L-アラニン 1.6g，L-プロリン 1g，L-セリン 0.6g，グリシン 1.18g，L-アスパラギン酸 0.2g，L-グルタミン酸 0.2g，酢酸カリウム 1.17g，クエン酸ナトリウム 0.36g，リン酸二カリウム 0.88g，ニコチン酸アミド 20mg，葉酸 0.2mg 小室液（4mL）中リン酸リボフラビンナトリウム 2.3mg，アスコルビン酸 50mg，ビオチン 30 μ g，ビタミン A 油 1650V.A 単位，コレカルシフェロール 2.5 μ g，酢酸トコフェロール 5mg，フィトナジオン 1mg 下室液（696mL）中ブドウ糖 120g，塩化ナトリウム 2.69g，塩化カルシウム 0.294g，硫酸マグネシウム 0.493g，硫酸亜鉛 5.76mg，塩酸チアミン 1.95mg，塩酸ピリドキシン 2.45mg，シアノコバラミン 2.5 μ g，パンテノール 7mg

2号：1袋 1,000mL 上室液（300mL）中 L-ロイシン 4.2g，L-イソロイシン 2.4g，L-バリン 2.4g，酢酸 L-リジン 4.44g，L-トレオニン 1.71g，L-トリプトファン 0.6g，L-メチオニン 1.17g，アセチルシステイン 0.4g，L-フェニルアラニン 2.1g，L-チロジン 0.15g，L-アルギニン 3.15g，L-ヒスチジン 1.5g，L-アラニン 2.4g，L-プロリン 1.5g，L-セリン 0.9g，グリシン 1.77g，L-アスパラギン酸 0.3g，L-グルタミン酸 0.3g，酢酸カリウム 1.47g，クエン酸ナトリウム 0.46g，リン酸二カリウム 1.05g，ニコチン酸アミド 20mg，葉酸 0.2mg 小室液（4mL）中リン酸リボフラビンナトリウム 2.3mg，アスコルビン酸 50mg，ビオチン 30 μ g，ビタミン A 油 1650V.A 単位，コレカルシフェロール 2.5 μ g，酢酸トコフェロール 5mg，フィトナジオン 1mg 下室液（696mL）中ブドウ糖 175g，塩化ナトリウム 2.63g，塩化カルシウム 0.37g，硫酸マグネシウム 0.62g，硫酸亜鉛 5.76mg，塩酸

チアミン 1.95mg，塩酸ピリドキシン 2.45mg，シアノコバラミン 2.5 μ g，パンテノール 7mg

【警】ビタミン B₁ 欠乏症と思われる重篤なアシドーシスが発現した場合には，直ちに 100～400mg のビタミン B₁ 製剤を急速静脈内投与すること。また，高カロリー輸液療法を施行中の患者では，基礎疾患及び合併症に起因するアシドーシスが発現することがあるので，症状があらわれた場合には高カロリー輸液療法を中断し，アルカリ化剤の投与等の処置を行うこと。

【禁】電解質代謝異常のある患者〔高ナトリウム血症の患者，高クロル血症の患者，高カリウム血症（乏尿，アジソン病，高窒素血症等）の患者，高リン血症（副甲状腺機能低下症等）の患者，高マグネシウム血症（甲状腺機能低下症等）の患者，高カルシウム血症の患者〕，重篤な肝障害（肝性昏睡又は肝性昏睡のおそれ等）のある患者，重篤な腎障害のある患者，アミノ酸代謝異常のある患者，本剤又は本剤配合成分に過敏症の既往歴のある患者，血友病の患者

【効】経口・経腸管栄養補給が不能又は不十分で，経中心静脈栄養に頼らざるを得ない場合の水分，電解質，カロリー，アミノ酸，ビタミン補給

【用】1号 本剤は経中心静脈栄養法の開始時で，耐糖能が不明の場合や耐糖能が低下している場合の開始液として，あるいは侵襲時等で耐糖能が低下しており，ブドウ糖を制限する必要がある場合の維持液として用いる。用時に上下 2 室の隔壁と上室内にある黄褐色の小室を同時に開通し十分に混合して，開始液又は維持液とする。1日 2,000mL の開始液又は維持液を 24 時間かけて中心静脈内に持続点滴注入する。

2号 本剤は経中心静脈栄養法の維持液として用いる。用時に上下 2 室の隔壁と上室内にある黄褐色の小室を同時に開通し十分に混合して，維持液とする。1日 2,000mL の維持液を 24 時間かけて中心静脈内に持続点滴注入する。

【副】アシドーシス，ショック，アナフィラキシー様症状，高血糖 発疹，痒痒感，顔面潮紅，高カリウム血症，血糖上昇，高ナトリウム血症，高カルシウム血症，悪心・嘔吐，腹痛，下痢，食欲不振，AST・ALT・Al-P・総ビリルビン上昇，肝機能異常，BUN 上昇，胸部不快感，動悸，脳浮腫，肺水腫，末梢浮腫，水中毒，悪寒，発熱，

熱感，頭痛

【妊】未確立，有益のみ 【授】未確立，回避，やむを得ない場合は授乳回避

【未・新・乳・幼・小】未確立

【貯】遮光

*塩酸デクスメトミジン

Dexmedetomidine Hydrochloride

【商】プレセデックス Precedex

アボット・ジャパン

注射：液剤^㉔ 1瓶（2mL）中 200 μ g

【警】本剤の投与により低血圧，高血圧，徐脈，心室細動等があらわれ，心停止にいたるおそれもあることから，本剤は，患者の循環動態，呼吸等の全身状態を注意深く継続的に監視できる設備を有し，緊急時に十分な措置が可能な施設で，本剤の薬理作用を正しく理解し，集中治療における患者管理に熟練した医師のみが使用すること。迷走神経の緊張が亢進しているか，急速静注，単回急速投与など，通常の方法・用量以外の方法で本剤を投与した場合に重篤な徐脈，洞停止等があらわれたとの報告があるので，本剤は定められた用法・用量に従い，緩徐に持続注入することを厳守し，患者の状況を慎重に観察するとともに，このような症状があらわれた場合には適切な処置を行うこと。

【禁】本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【効】集中治療下で管理し，早期抜管が可能な患者での人工呼吸中および抜管後における鎮静

【用】6 μ g/kg/時の投与速度で 10 分間静脈内へ持続注入し（初期負荷投与），続いて患者の状態に合わせて，至適鎮静レベルが得られる様，維持量として 0.2～0.7 μ g/kg/時の範囲で持続注入する（維持投与）。本剤の投与は 24 時間を超えないこと。

【副】低血圧，高血圧，徐脈，心室細動，心停止，洞停止，低酸素症，無呼吸，呼吸困難 激越，傾眠，不安，錯乱，幻覚，めまい，頭痛，不全麻痺，譫妄，うつ病，錯覚，神経過敏，意識低下，神経痛，神経炎，ニューロパシー，知覚脱失，ジストニア，言語障害，昏迷，痙攣，嘔吐，嘔気，口内乾燥，腹痛，下痢，おくび，心房細動，頻脈，末梢性虚血，血管障害，血圧変動，心不全，心電図異常，特異的心電図異常，

高血圧悪化，心筋梗塞，不整脈，心室性不整脈，期外収縮，上室性頻脈，心室性頻脈，脳出血，血管拡張，脳血管障害，血管痙攣，循環不全，チアノーゼ，心疾患，狭心症，心筋虚血，心房性不整脈，AV ブロック，脚ブロック，心ブロック，T 波逆転，上室性不整脈，無気肺，気管支痙攣，高炭酸ガス血症，低換気症，胸水，気胸，肺水腫，呼吸不全，徐呼吸，咳，喀血，肺炎，肺うっ血，呼吸抑制，呼吸障害，視覚異常，複視，光視症，出血，血小板減少症，貧血，白血球増加症，凝固障害，DIC，AG 比異常，AST・ALT 上昇， γ -GTP 上昇，黄疸，多汗，紅斑性皮疹，乏尿，腎機能異常，尿閉，口渇，アシドーシス，呼吸性アシドーシス，高血糖，高カリウム血症，血液量過多，低蛋白血症，NPN 上昇，Al-P 上昇，低カリウム血症，発熱，血液量減少，疼痛，背部痛，異常高熱，浮腫，悪寒，失神，胸痛，筋肉痛，感染，敗血症

【妊】未確立，有益のみ

【授】回避，授乳回避

【小】18 歳未満：未確立

*塩化カリウム Potassium Chloride

【商】メディジェクト K Mediject K テルモ

注射：液剤

1 筒（20mL）中 1.491g（K：20mEq）

【効】電解質補液の電解質補正

【用】電解質補液の補正用として，体内の水分，電解質の不足に応じて電解質液に添加して点滴静注するか，腹膜透析液に添加して腹腔内投与する。

【副】高カリウム血症

【貯】遮光